

東電・経産省グループは子供や孫の未来を考えているのか？

有識者と称する無責任グループは、無責任にも汚染水の海洋投棄を決めた。

トリチウムだけを論じているが、タンクの中身を、手に取り線量を測定した者が、あの有識者の中に一人でも居るのか？貴方方の様な破廉恥な似非有識者の集団が、この国の、子や孫たちの未来を貶めている事が解らないのか？

西村大臣！あなたの非力さを一番悲しんでいるのは、故安倍さんだよね？

この国のエネルギー政策を背負うには、貴方の様にお人好しには無理だと思います。

私は初期の頃から何度も除染実験をした。トリチウムより怖い、セシウム、ストロンチウムが、未だ残留している事を断言します。公開の場でタンク内の汚水線量を測定した上で海洋投棄を決めるべきです。有識者会議のメンバーに、自己の身分を明かして「確実に安全だ」と、宣言できる者が一人でも居るのだろうか？氏名を隠し「赤信号、みんなで渡れば怖くない」の卑怯者たちばかりではないのか？黒川清先生の七つの提言に、経産省、東電は一切答えていないよね？これほどまでに正論が怖いのか？

海洋放流すれば、我国は国際社会から糾弾されます。コンクリート製で何万トンも貯水できるプールを造れば、二年や三年の日延べは出来るはずですよ。

この問題こそ「日延べ、時間稼ぎ」をすべきです。東電事故で、いち早くチェルノブイリ原子力研究所と、当社が技術提携した事は周知の事実です。

小田兼利



棚ざらしにされた 国会事故調査委員会の7つの提言

- ① 規制当局に対する国会の監視
- ② 政府の危機管理体制の見直し
- ③ 被災住民に対する政府の対応
- ④ 電気事業者の監視
- ⑤ 新しい規制組織の要件
- ⑥ 原子力法規制の見直し
- ⑦ 独立調査委員会の活用

POLY-GLU は福島原発事故の汚染水問題を解決します。

Our solution to the Fukushima nuclear accident contaminated water problem.

<https://www.poly-glusb.jp/pdf/our%20solution%20for%20fukushima.pdf>